



理工学専攻機能材料化学コース大学院生が化学関連支部合同九州大会 高分子・繊維若手研究者奨励賞を受賞

【概要】

理工学専攻機能材料化学コース博士前期課程1年の黒木 咲歩 さんが、令和4年7月2日(土)に開催された第59回化学関連支部合同九州大会において、高分子・繊維若手研究者奨励賞を受賞しました。

【本文】

令和4年7月2日(土)に小倉にて第59回化学関連支部合同九州大会が開催されました。本大会は、化学関連8学協会（高分子学会、繊維学会、日本農芸化学会、化学工学会、日本化学会、有機合成化学協会、電気化学会、日本分析化学会）の九州支部等の共催により今年で59回目となる九州最大規模の学会です。九州各県ならびに山口県の大学や高専から多数の研究者が最新の研究成果を発信する場であり、各学会支部が厳格な審査基準をもとにポスター賞を設けています。

高分子・繊維部門では今年度は114名が発表し、特に優れた10名の発表者に対し高分子・繊維若手研究者奨励賞が贈られ、本学から、理工学専攻機能材料化学コース博士前期課程1年 黒木 咲歩 さん（指導教員：成田 貴行 准教授、大石 祐司 教授）が受賞しました。今後の益々の活躍が期待されます。

○高分子・繊維若手研究者奨励賞（高分子学会九州支部、繊維学会西部支部）

理工学専攻機能材料化学コース 博士前期課程1年 黒木 咲歩 さん

（指導教員：成田 貴行 准教授、大石 祐司 教授）

題目：PNIPAM-co-AAcゲルの体積相転移にナノバブルが及ぼす影響

発表者：黒木 咲歩、大石 祐司、成田 貴行

受賞者一覧：

<https://spsj.or.jp/branch/kyushu/Awards.html>



受賞した黒木さん(左)と成田准教授(右)